

「中小企業向けサイバーセキュリティ製品・サービスに関する  
情報提供プラットフォーム構築に向けた実現可能性調査」  
に係る企画競争に関するQ&A

更新日:2019年7月19日  
独立行政法人情報処理推進機構

【Q1】	<u>[P1 1.概要 1.1 背景・目的]</u> 本公募を実施する政策的な背景として、関連する経済産業省の研究会などはあるか。貴機構が実施している「サイバーセキュリティお助け隊」との関係性と、連携して実施することについてはどうか。
【A1】	第3回産業サイバーセキュリティ研究会で示された、産業サイバーセキュリティの加速化指針の一つである『中小企業・地域』まで展開するための一つの手段として、本調査を行うものであると理解。サイバーセキュリティお助け隊とは、目的や事業の性質が異なるため、別事業として考えているが、連携することでより一層効率的・効果的に事業実施が可能であれば、提案いただきたい。
【Q2】	<u>[P21 仕様書 4.(3)中小企業向けプラットフォームのコンテンツ作成]</u> プラットフォームとは、新規で構築するイメージか、あるいは既存のものに機能追加するなど構築するイメージか。
【A2】	提案によるが、既存のものではなく、新規で構築することを想定している。なお、本件はプラットフォームの構築に向けた実現可能性調査を行うものであり、実際の構築については、本調査結果などの成果を踏まえ、次年度以降に検討する見通し。
【Q3】	<u>[P5 公募要領 5.2 採択件数]</u> 仕様書に記述されている予算額は、業務内容に照らして多い印象を受けたが積算はどのように行っているか。
【A3】	複数社から見積もりを徴取して、それらを参考にして算出している。なお、本業務では、実証の内容・方法・実施体制等は提案を求めているものの、中小企業が扱いやすい製品・サービス全てが対象であることから、その評価項目の実証にあたっては複数の製品・サービスを複数の中小企業に導入等を実施する必要性があることを想定している。
【Q4】	<u>[P20 仕様書 4.(1)製品・サービス評価項目の提案及び検証実施]</u> 実証を行う製品・サービスについての制約などはあるか。例えば、国産の製品でなければならない、開発中でまだ製品として市場に出ていないものは不可など。
【A4】	仕様書記載のとおり制約などはないが、本件が中小企業を対象とするも

	<p>のであることから、導入のし易さ、メンテナンス性、コスト等の観点を十分に考慮して選定いただきたい。また、選定理由については、その説明を提案書に記載いただきたい。</p>
--	--